

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	市民の創造的な文化・芸術活動を支えるべく、地道な研究の成果と高度な専門知識に裏付けられた質の高い事業を展開するとともに、市民利用をさらに促進していくこと。	幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場、市民文化創造の拠点となること。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。 ・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 	<p>【市民に身近な芸術活動の拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の展示・制作の場 ・美術作品の制作指導等の実施
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、利用者の視点に立ったきめ細やかな施設運営など、住民サービス・利便性の向上により、さらに多くの市民に両施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。市としては、この制度導入効果を達成するため、指定管理者の企画運営により柔軟で多様な工夫が発揮されることや、専門性の発揮により、魅力・特色ある施設運営が行われ、さらなる来館者の増加に寄与されることを期待する。	
成果指標※	① 展覧会入場者数 ② 施設稼働率	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 152,000人以上 ② 48%以上	① 34,000人以上 ② 11,000人以上 ③ 54%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 （共同事業体の場合）		
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）	
選定方法	非公募	
非公募理由	施設の設定経緯及び美術館としての機能、業務の特性等により、管理運営は同一団体が継続して担うほうが合理的かつ効率的であるため。	展覧会の企画や講習会の実施等に当たり美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）の管理に係る経験等も要求されるものであるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率
展覧会入場者数	152,000人以上	116,618人	76.7%
施設稼働率	48%以上	45.6%	95.0%

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上 (32,400人以上)	26,686人	78.5% (82.4%)
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	見直し前: 11,000人以上 (10,800人以上) 見直し後: 2,000人以上	1,735人	86.8%
施設稼働率	54%以上	51.9%	96.1%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。なお、旧神谷伝兵衛稲毛別荘の利用者数の数値は、平成31年度事業計画書において、耐震改修工事による休館(H30.6~H31.7)を見込んだことから、数値目標の見直しを行っている。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H30実績
友の会会員数(普通会員数) 2,500人	1,346人
友の会会員数(賛助会員数) 50人	32人(個人)、5件(法人)

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	269,045	266,697	実績－計画	0	過年度実績による光熱水費の精査
	計画	269,045	266,697	計画－提案	△ 23,644	
	提案	292,689	283,854			
利用料金収入	実績	36,732	47,304	実績－計画	△ 19,319	展示会入館者数の減
	計画	56,051	63,040	計画－提案	△ 3,961	助成金をその他収入に組換え
	提案	60,012	59,916			
その他収入	実績	25,357	22,384	実績－計画	△ 16,195	ミュージアムショップの売上の減
	計画	41,552	27,750	計画－提案	15,152	助成金申請数の増
	提案	26,400	26,150			
合計	実績	331,134	336,385	実績－計画	△ 35,514	
	計画	366,648	357,487	計画－提案	△ 12,453	
	提案	379,101	369,920			

イ 支出

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	118,389	126,910	実績－計画	△ 18,862	職員1名減
	計画	137,251	131,957	計画－提案	△ 1,054	契約職員にかかる給与費減
	提案	138,305	130,157			
事務費	実績	46,062	50,186	実績－計画	△ 5,484	公課費などの節減
	計画	51,546	48,903	計画－提案	△ 15,054	過年度実績による光熱水費の精査
	提案	66,600	65,785			
管理費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	7,847	9,182	実績－計画	△ 1,578	清掃、燻蒸などの契約差金
	計画	9,425	9,267	計画－提案	△ 1,148	神谷別荘工事に伴う清掃等委託費の減
	提案	10,573	10,573			
その他事業費	実績	141,201	146,819	実績－計画	△ 15,445	旅費交通費、消耗品などの節減
	計画	156,646	155,798	計画－提案	4,803	展示会開催の委託費の増
	提案	151,843	151,843			
間接費	実績	8,713	16,098	実績－計画	△ 3,067	事務局人件費の減
	計画	11,780	11,562	計画－提案	0	
	提案	11,780	11,562			
合計	実績	322,212	349,195	実績－計画	△ 44,436	
	計画	366,648	357,487	計画－提案	△ 12,453	
	提案	379,101	369,920			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
自主事業収入	実績	1,694	1,780
その他収入	実績	0	0
合計	実績	1,694	1,780

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
人件費	実績	445	439
事務費	実績	91	40
管理費	実績	0	0
委託費	実績	366	60
使用料	実績	0	0
事業費	実績	687	662
利用料金	実績	105	109
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	123	119
合計	実績	1,817	1,429

間接費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	【参考】H29年度
必須業務	収入合計	331,134	336,385
	支出合計	322,212	349,195
	収支	8,922	△ 12,810
自主事業	収入合計	1,694	1,780
	支出合計	1,817	1,429
	収支	△ 123	351
総収入		332,828	338,165
総支出		324,029	350,624
収支		8,799	△ 12,459
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 千葉市美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	D	
施設稼働率	C	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数（市民ギャラリー・いなげ）	D	
利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）	C	
施設稼働率	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	削減額の主な要因は、美術館の光熱水費を実績にあわせて予算額を精査したことによることから、選定時の提案額と同額として評価。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1	市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
	市民の平等利用の確保			
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2	施設管理能力	C	C	
	(1) 人的組織体制の充実			
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務			
	施設の保守管理			
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3	施設の効用の発揮	C	C	
	(1) 幅広い施設利用の確保			
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実			
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施			
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
4	その他	C	C	
	市内業者の育成			
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
美術館企画展の来館者層について、市外者が多いことから、市民を意識した内容についても検討されたい。	平成29年度	千葉県緑区に生まれた近代日本画家・石井林響の回顧展を開催し、千葉ゆかりの作家として市内の方に知っていただく機会とした。
さや堂の魅力発信について、口コミやSNSで話題になるような取組みを検討されたい。	平成29年度	さや堂ホールの活性事業として、夏は親子三代夏祭りにあわせて「美術館で縁日気分!!」や千葉の美味しいものや魅力的なものを市内外にPRする「うまいもん!市」、現代アートとさや堂のコラボレーションイベント「さや堂ナイトプロジェクト」を開催し、SNS等で発信した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

実施内容	調査方法	展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。
	回答者数	1,185件
	質問項目	年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見
結果	<p>ア 回答者の属性：</p> <p>年齢（10歳未満 2.7%、10代 7.2%、20代 6.0%、30代 8.9%、40代 16.7%、50代 19.9%、60代 18.8%、70代 13.2%、80歳以上 2.3%、無回答 4.3%）</p> <p>性別（男性 42.2%、女性 54.5%、無回答 3.3%）</p> <p>住所（市内 31.9%、県内 30.5%、都内 19.0%、その他 15.8%、無回答 2.8%）</p> <p>イ 交通手段：</p> <p>J R千葉駅より徒歩 28.6%、J R千葉駅よりバス 5.9%、J R千葉駅よりタクシー 1.8%、C-bus 3.5%、京成千葉中央駅 8.3%、モノレール 5.2%、自家用車 24.3%、自転車 2.8%、その他 6.3%、無回答 13.3%</p> <p>ウ 展覧会を知った媒体（複数回答）：</p> <p>新聞 19.1%、雑誌・ミニコミ 0.7%、テレビ・ラジオ 5.9%、チラシ 28.0%、ポスター 13.2%、市政だより 4.1%、知り合いから 7.3%、友の会・美術館ニュース 5.5%、千葉市美術館ホームページ 14.3%、その他インターネットサイト 7.1%、館に来て 2.0%、千葉市美術館ツイッター 2.0%、その他 10.3%</p> <p>エ 来館回数：</p> <p>はじめて 25.2%、2～3回 19.7%、4～5回 12.7%、6回以上 37.7%、無回答 4.7%</p> <p>オ 感想：</p> <p>大変よかった・期待以上 57.8%、よかった・期待どおり 31.4%、普通 4.8%、あまりよくなかった 1.1%、よくなかった・期待はずれ 0.4%、無回答 4.5%</p>	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

実施内容	調査方法	ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱、ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。
	回答者数	214件
	質問項目	来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点
結果	<p>ア 回答者の属性</p> <p>年齢（10代 3%、20代 2%、30代 6%、40代 8%、50代 8%、60代 22%、70代 39%、80代以上 14%）</p> <p>性別（男性 41% 女性 59%）</p> <p>住所（中央区 13%、花見川区 10%、稲毛区 23%、若葉区 7%、緑区 4%、美浜区 25%、その他 18%、）</p> <p>イ 利用施設：ギャラリー棟 69%、別荘 31%</p> <p>ウ 申込・受付方法：今のままでよい 94%、改善してほしい 6%</p> <p>エ 清掃状況</p> <p>ギャラリー棟（良い 91%、普通 8%、良くない 1%）</p> <p>別荘（良い 91%、普通 6%、良くない 2%）</p> <p>オ 窓口・受付対応</p> <p>ギャラリー棟（良い 93%、普通 6%、良くない 1%）</p> <p>別荘（良い 94%、普通 5%、良くない 1%）</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉市美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
もう少し説明の字が大きい方が読みやすいと思った。	解説文の文字の大きさに配慮し、従来よりも大きくした。 （「解説文の文字が大きくなり、とてもよかった」との意見あり。）
これからトイレの便座が冷たいのはちょっと。暖かくなりませんか。	7階、8階の男女の洋式トイレ及び多目的トイレに暖房便座を設置した。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
稲毛公園内のギャラリーの案内看板がわかりづらい。	公園内にある案内看板を増設した。(2→3基)
施設の交通の便が良くない。	直接的な改善が難しい点ではあるものの、詳細な交通情報を記載した案内を作成し配布することで、少しでも来館しやすいよう工夫した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>【美術館】</p> <p>本年度はすべての展覧会で1万人前後とこれまでに比べると入場者数はやや低下したものの、千葉市美術館らしい多彩な展覧会内容が好評であった。「百花繚乱列島」展では、これまで他館が開催しなかった江戸時代の地方絵師に目を向けた意欲的な展覧会として評価を受け、「石井林響展」では知られざる千葉市ゆかりの作家を紹介し、研究を深めた。また「1968年展」では当時のサブカルチャーをも取り込んだ内容で、県外からの20～30代を誘引することができた。はじめて来館される方が多い展覧会と常連の方が来やすい展覧会とを並行して開催することで、市内外にPRした。</p> <p>【いなげ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代やジャンルを超えて美術や文化に親しめるよう、小学校～大学と連携した展覧会、講習会を積極的に行った。また、千葉市在住の若手作家の発掘・紹介にも力を入れた。 ・「海辺の記憶を伝える」をテーマに、近隣施設と連携した企画展「いなげの夏休み」や、「稲毛お話し会」で選定された「いなげ八景」を巡り稲毛商店街運営あかりサロン特製の「八景弁当」を食す「いなげ八景ツアー&ランチ」を開催した。さらに「いなげ八景」を描く「第2回いなげ八景水彩画コンクール」を開催し、地域文化の中核としての役割を担った。
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>【美術館】</p> <p>概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>展覧会の総入場者数は、昨年度の12万人台から11万人台に減少し成果指標とのかい離が大きくなっている。このため、集客に向けた実行力のある取組みを早期に進めるとともに、効果的な広報を行い、利用者数の増加に努められたい。</p> <p>【市民ギャラリー・いなげ】</p> <p>概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>また、地元に関連した企画展の開催や、地域市民をターゲットにした講習会やイベントを多数実施し、地域文化・アート拠点として地域に根差した美術文化の醸成に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>一方、利用者数や施設稼働率が目標数値以下に減少した点については、施設利用団体構成員の高齢化による展覧会等の利用減少のほか、旧神谷伝兵衛稲毛別荘休館の影響も考えられることから、若年層の取り込みなど新たな利用者層の獲得や、改修後の神谷別荘の活用内容を充実させることなどにより、引き続き地元文化・アート拠点として、効果的な事業を展開されたい。</p>
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>(ア) 美術館の市民利用状況について、任意のアンケートだけではなく、全体の状況をより正確に把握できる方策を検討されたい。</p> <p>(イ) 美術館の入場者数について、展覧会ごとの目標と実績の差を検証するなど、実態を細かく分析し、実績向上の参考とするよう努められたい。</p> <p>(ウ) 美術館「友の会」の会員数について、目標を達成できるよう、減少理由を分析し、増加に向け工夫されたい。</p> <p>(エ) 市民ギャラリー・いなげについて、美術に親しむ活動を始めるきっかけづくりの場となるような新しい取組みなど、市民利用を増やす方策を検討されたい。</p> <p>(オ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は良好であり、特段の問題はみられないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
--